科目名	言語知識 文法A_N2				
科目名(英)	Japanese Grammer A_N3				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	横地　知子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	日本語で自分の言いたいことが伝わる文を作ったり、必要な情報を的確に読み取ったりするために、文法知識は欠かせない。日本での就労を希望する外国人には日本語能力試験N2以上の日本語力が求められるため、この授業では、実際に日本で生活し、働く場面を想定した例文を多く使いながら、文法を学んでいく。最終的にはJLPTN2の合格を目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				文の内容にあった文法形式を使って文を作ることができる。
○	◎				N2レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。
○	◎				N2レベルで書かれた文章の流れや表現意図に合う文法を選び使うことができる。
○	◎		○		習得した文法を、意図に合う形で会話や記述文に、運用できる。

テキスト・教材 参考図書

・佐々木仁子、松本紀子 『日本語総まとめN2　文法』 アスク出版　2018年
・佐々木仁子、松本紀子 『日本語総まとめN1　文法』 アスク出版　2018年
・友松悦子・福島佐知・中村かおり 『新完全マスターN2　文法』 スリーエーネットワーク　2018年

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	日本語総まとめN2　第8週　接続詞 1日目 それなのに、それでも、それなら、それで（逆接、順接、理由等） 2日目　それが、そこで、そういえば、それはそうと（理由、話題転換、順接等） 3日目　すなわち、あるいは、だが、だって（言い換え、選択、逆接、理由）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
2	4日目　ということは、というのは、したがって、ただし（理由、例外的条件等） 5日目　もっとも、なお、さて、すると　（条件、順接等） 6日目　要するに、しかも、おまけに、ちなみに（参考、条件、説明添加等）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
3	日本語総まとめN2　第1週 1日目 様子、傾向の意味を加える言葉　接尾辞（げ、がち、っぽい、気味） 2日目「もの」を使った表現、第1週 3日目　助詞の働きをする言葉（はもとより、はともかく、はまだしも、は抜きにして）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
4	4日目　話者の感覚や強い気持ちを伝える表現 5日目　話者の感覚や強い気持ちを伝える表現(ないことはない、ないこともない、ないではいられない、ずにはいられない) 6日目（ねばならない、てはならない、ていられない、でばかりはいられない）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
5	日本語総まとめN2　　第2週 1日目　助詞の働きをする言葉（のかいがあって、のかいもなく、てまで）接尾辞（かい） 2日目　動詞の意味を広げる言葉（かける、切る、える/うる、ぬく） 3日目　複文を作る言葉（うちに、か～ないかのうちに、限り、に限り）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
6	4日目　強調や程度をが大きいことを表す助詞の働きをする言葉 （さえ～ば、からこそ、てこそ、ばかりだ） 5日目　複文を作る言葉　条件（～にしたら、～としたら、～としても）を～として 6日目　複文を作る言葉　連動（～とともに、～にともなって、～につれて、～にしたがって）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
7	復習　第8週、第1週、第2週　7日目	間違えた箇所の再復習（1時間）
8	日本語総まとめN2　第3週 1日目　複文を作る言葉　とおり、ままに、ことに、のあまり、 2日目　文末表現「わけ」を使った表現 3日目　複文を作る言葉、たとたん、たあげく、た末、と思ったら	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
9	4日目「ところ」を使った表現 5日目　様子や傾向の意味を加える言葉 接尾辞（だらけ、ったきり、っきり、っぱなし） 6日目　複文を作る言葉（に反して、反面、一方、）	間違えた箇所の再復習（1時間）
10	日本語総まとめN2　第4週 1日目「上」を使った表現(上に、上で、上は、上では) 2日目 接尾辞～向け/向き 「次第」を使った表現（次第で、次第、次第だ） 3日目　助詞の働きをする言葉（にこたえて、に対して、により、にかかわって）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
11	4日目　同時進行（ながら、つつ、つつある）　非難する表現（くせして） 5日目話者の感覚や強い気持ちを伝える表現 （べきではない、ざるをえない、ことになっている、にすぎない） 6日目　助詞の働きをする言葉（にあたり、にそって、に先立ち、 行動の基準や時点、範囲を表す　（にわたり）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）

授業計画	12	日本語総まとめN2　第5週 1日目　話者の否定的判断を表す言葉（っこない、かねない、かねる、がたい） 2日目「こと」を使った表現（ことから、ことだから、ことなく、ないことには～ない） 3日目　話者の判断を表す表現（て当然だ、のももっともだ、も同然だ、だけましだ）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	13	4日目　助詞の働きをする言葉　～だけあって　～ばかりか、～も （た形）ばかりに　～のみならず～でも 5日目　話者の意志、感覚を表す表現 ～ではないか　～ようがない　～かのようだ　～そうにない 6日目　助詞の働きをする言葉　～に際して　～に基づいて ～に応じて　～の下で	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	14	日本語総まとめN2　第6週 1日目　複文を作る言葉（て以来、以上、からには、折には） 2日目　複文を作る言葉（から言うと、からすると、からして、から見ると） 3日目　からといって、てからでないと、から～にかけて、にかけては	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	15	4日目　話者からの発信の表現（とか、まい、か～まいか） 5日目　文末表現（に決まっている、とは限らない、よりほかない、にほかならない） 6日目　助詞の働きをする言葉（をはじめ、をめぐって、において、にて）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	16	復習　第3週、第4週、第5週　7日目	間違えた箇所の再復習（1時間）
	17	日本語総まとめN2　第7週 1日目　複文を作る言葉（もかまわず、にもかかわらず、にかかわらず、を問わず） 2日目　繰り返す表現　（～やら～やら、～につけ～につけ、～にしろ～にしろ、～にせよ～にせよ、も～ば～も） 3日目　「もの」を使った表現（ものだ、ものではない、というものだ、ものか）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	18	日本語総まとめN2　第7週 4日目　（を中心に、をこめて、を通じて、を頼りに） 5日目　話者の感覚を表す言葉（恐れがある、ものがある、は～というものでもない、とうにか～ないものか） 6日目　助詞の働きをする言葉（～をもとに、～につき、～をきっかけに、～の際に）	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	19	確認テスト①　フィードバック	間違えた箇所の再復習（1時間）
	20	復習　第6週、第7週、7日目	間違えた箇所の再復習（1時間）
	21	苦手な分野の復習①　（文法形式の判断、敬語や会話形式、並べ替え）	間違えた箇所の再復習（1時間）
	22	確認テスト②　フィードバック	間違えた箇所の再復習（1時間）
	23	苦手な分野の復習②　（文章の文法）	間違えた箇所の再復習（1時間）
	24	日本語総まとめN1　第1週 1日目「こそ」を使った表現 2日目「くらい」「もの」を使った表現、	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	25	3日目　「こと」を使った表現 4日目　文末表現（受身、使役受身文）使役の表現、	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	26	5日目　「みる」「みられる」「する」を使った表現 6日目「ところ」を使った表現	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	27	N1　第一週　復習　7日目	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	28	N2　総復習　第1週～3週	間違えた箇所の再復習（1時間）
	29	N2　総復習　第4週～6週	間違えた箇所の再復習（1時間）
	30	N2　総復習　第7週、8週	間違えた箇所の再復習（1時間）

評価方法

（1）小テストを14回　実施　（2）前期末に定期試験を実施
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（60点未満）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
小テスト	○	◎		○		50%
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	言語知識 文法A_N3				
科目名(英)	Japanese Grammer A_N3				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	横地　知子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	日本語で自分の言いたいことが伝わる文を作ったり、必要な情報を的確に読み取ったりするために、文法知識は欠かせない。この授業では、日常的な話題について書かれた文章や、日常的な場面でのまとまりのある会話に使われる例文を多く使いながら、文法を学んでいく。JLPTN3の合格を目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				文の内容にあった文法形式を使って文を作ることができる。
○	◎				N3レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。
○	◎				N3レベルで書かれた文章の流れや表現意図に合う文法を選び使うことができる。
○	◎		○		習得した文法を使い、コミュニケーションが取れる。

テキスト・教材 参考図書

・佐々木仁子、松本紀子 『日本語総まとめN3　文法』、アスク出版　2018年
・佐々木仁子、松本紀子 『日本語総まとめN2　文法』 アスク出版　2018年
・友松悦子、福島佐知、中村かおり 『新完全マスターN3　文法』 ｽﾘｰｴｰﾈｯﾄﾜｰｸ　2018年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	日本語総まとめN3　第1週 1日目～れている、～にーれた、～せてください　受身・使役の復習 2日目　～ないと、～ちゃった、～とく(ておく)	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
2	3日目　～みたいだ、～らしい、～っぽい 4日目　～ようにする、～ように、～ようになる	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
3	5日目　「～ように」の用法 6日目　「意志形＋と思う」、「意志形＋とする」「意志形＋としない」 7日目	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
4	日本語総まとめN3　第2週 1日目　～ばかり、～だけしか、～さえ、こそ 2日目　～に関して、～について、～によれば、～によって	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
5	3日目　～形容詞→名詞化　＋さ、＋み、こと、の 4日目　～という、～というのは、～というのは	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
6	5日目　～というより、～というと、～といっても 6日目　～てごらん、～ように言う、～辞書形＋な、～てくれと 7日目	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
7	日本語総まとめN3　第3週 1日目　～ても、どんなに～ても、～ずに 2日目　～として、～にしては、～にしても、～としたら	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
8	3日目　辞書形＋つもりでした、～はずだ、～べきだ、～ものだ 4日目　～ついでに、～たびに、～たとたん、～の最中に	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
9	5日目　～とおり、～まま、～っぱなし、～きり 6日目　～がらないで、～てほしい、～ふりをする 7日目	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
10	第1週～第3週　復習 各週　7日目　敬語	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
11	日本語総まとめN3　第4週 1日目　～にとって、～わりには、～くせに、～なんか 2日目　～おかげで、～せいで、～かわりに、～にかわって	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
12	3日目　～くらい／ほど、～ほど、～ば～ほど、～くらい～は～ない 4日目　～ことはない、～ということだ、～ことだ、どんなに～ことか	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
13	5日目　～っけ、～しかない、～んだって、～んだもん 6日目　～、つまり、～　そのため(に)、～その結果、なぜなら 7日目	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
14	日本語総まとめN3　第5週 1日目　～はもちろん、～ばかりか、～に比べて、に対して 2日目　～上げる、～切れない、～かけ、～たて	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
15	3日目　～といいなあ、～ばよかった、～ば～のに、～かなあ 4日目　～辞書形＋まで、～名詞＋まで、～から～にかけて、～において	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
16	5日目　たとえ～ても、もしかすると～かもしれない、必ずしも～とは限らない、まるで～のよう **6日目　接続詞　だけど、ですから、ところが、ところで** 7日目	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
17	日本語総まとめN3　第6週 1日目　もし～たなら、もし～としても、もしも～なら 2日目　～ことになっている、～ことにしている、ことは～が、～ないことはない	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)
18	確認テスト①　フィードバック	既習文法項目の復習(0.5時間) 間違えた問題のチェック(0.5時間)
19	3日目　～たところ、～ところだった、～てはじめて、～うちに 4日目　～わけだ、～わけではない、～わけがない、～わけにはいかない	テキスト内の語彙の予習、復習(0.5時間) 学習項目の文法の復習(0.5時間)

	20	５日目　決して～ない、まったく～ない、めったに～ない、少しも～ない **６日目　接続詞　～。それと、　～？それとも～？、～。その上、** ７日目	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	21	第4週～第6週　復習 各週　7日目　敬語	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	22	確認テスト②　フィードバック	既習文法項目の復習（0.5時間） 間違えた問題のチェック（0.5時間）
	23	日本語総まとめN2　第8週 １日目　接続詞　それなのに、それでも、それなら、それで ２日目　接続詞　それが、そこで、そういえば、それはそうと	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	24	３日目　接続詞　すなわち、あるいは、だが、だって ４日目　接続詞　ということは、というのは、したがって、ただし	既習文法項目の復習（0.5時間）
	25	５日目　接続詞　もっとも、なお、さて、すると ６日目　接続詞　要す るに、しかも、おまけに、ちなみに ７日目	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	26	日本語総まとめN2　第1週 １日目 様子、傾向の意味を加える言葉　接尾辞（げ、がち、っぽい、気味） ２日目「もの」を使った表現、第1週	既習文法項目の復習（0.5時間）
	27	３日目　助詞の働きをする言葉（はもとより、はともかく、はまだしも、は抜きにして） ４日目　話者の感覚や強い気持ちを伝える表現	テキスト内の語彙の予習、復習（0.5時間） 学習項目の文法の復習（0.5時間）
	28	５日目　話者の感覚や強い気持ちを伝える表現 （ないことはない、ないこともない、ないではいられない、ずにはいられない） ６日目（ねばならない、てはならない、ていられない、でばかりはいられない） ７日目	既習文法項目の復習（0.5時間）
	29	文法復習　N3 １～３週	既習文法項目の復習（0.5時間）
	30	文法復習　N3 ４～６週	既習文法項目の復習（0.5時間）

評価方法

（1）小テストと確認テスト、計12回実施　（2）前期末に定期試験を実施
以上を下記の観点・割合で評価する。
定期試験50%、小テスト50%としてを行うものとする。成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（60点未満）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
確認テスト／小テスト	○	◎		○		50%
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	言語知識　文字語彙A_N2				
科目名(英)	Japanese Character and Vocabulary N2				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	今長　まゆみ
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年　国際介護福祉科1年				
授業概要	文字語彙は日本語の勉強の基礎であり、日本語能力試験N2に合格するためにはまず、語彙の量を増やすことが大切である。この授業では、N2レベルで求められる一般的な話題に関する会話や読み物を理解するために必要な語彙を中心にその意味や使い方を学ぶ。漢字の読み方や書き方、漢字の言葉に接尾辞や接頭辞をつけるルール、2つの言葉をつないだ複合動詞についてその意味や運用方法を学ぶ。N2の練習問題を多く解くことで文字語彙力を強化し、N2合格を目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	◎				前後の文脈に合った適切な語彙を使うことができる。
○	◎				一つの語を同じ、あるいは、意味の近い他の表現に置き換えることができる。
○	◎				N2レベルの漢字語彙に適切な接頭辞や接尾辞をつけることができる。
○					N2レベルの漢字の読み書きができる。
○	◎				N2レベルの漢字の意味が説明できる。

テキスト・教材 参考図書

・佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめN2語彙』、『日本語総まとめN2漢字』 アスク出版　2018年
・松浦真理子・鈴木健司『日本語能力試験対策　日本語パワードリルN2　文字・語彙』 アスク出版　2017年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	「日本語総まとめ」第1週　楽しく暮らしていますか？	復習（7日目）と次週の予習をすること(1時間)
2	第2週　仕事は順調ですか	復習（7日目）と次週の予習をすること(1時間)
3	第3週　いろいろ表現しましょう	復習（7日目）と次週の予習をすること(1時間)
4	第4週　副詞をたっぷり覚えましょう	次回の復習テストの準備をすること(1時間)
5	復習テスト（第1週～第4週まで）　第6週　まとめて覚えましょう①（1日目～3日目）	復習と予習をすること(1時間)
6	第6週（4日目～6日目）、第7週　まとめて覚えましょう②（1日目～3日目）	復習と予習をすること（特に第5週）(1時間)
7	第7週（4日目～6日目）　第5週　やさしい漢字で書きますが（7日目中心に）	復習（7日目）と次週の予習をすること(1時間)
8	第8週　まとめて覚えましょう③　（1日目～3日目）	復習と予習をすること(1時間)
9	第8週　まとめて覚えましょう③　（4日目～6日目）	次回の復習テストの準備をすること(1時間)
10	復習テスト（第5週～8週まで）、その他復習問題（テキストから漢字を中心に）	復習と予習をすること(1時間)
11	「パワードリルN2文字語彙」 第1回、2回、3回	復習と予習をすること(1時間)
12	第4回、第5回、集中トレーニング①動詞、②擬音語・擬態語	復習と予習をすること(1時間)
13	第6回、7回、8回	復習と予習をすること(1時間)
14	第9回、10回、集中トレーニング③④　カタカナ語（1）（2）	復習と予習をすること(1時間)
15	第11回、12回、13回	復習と予習をすること(1時間)
16	第14回、第15回、集中トレーニング⑤⑥　接続語（1）（2）	復習と予習をすること(1時間)
17	第16回、17回、18回	復習と予習をすること(1時間)
18	確認テスト　フィードバック	復習と予習をすること(1時間)
19	第19回、第20回、集中トレーニング⑦副詞　⑧慣用句（1）	復習と予習をすること(1時間)
20	第21回、22回、23回	復習と予習をすること(1時間)
21	第24回、25回、集中トレーニング⑨⑩　慣用句（2）（3）	復習と予習をすること(1時間)
22	確認テスト　フィードバック	復習と予習をすること(1時間)
23	第26回、27回、28回	復習と予習をすること(1時間)

	24	第29回、第30回、漢字（総まとめN2漢字第1週1日目）	復習と予習をすること（1時間）
	25	パワードリルN2文字語彙　まとめテスト①　（P8～P28）	間違えた問題を再度確認すること（1時間）
	26	パワードリルN2文字語彙　まとめテスト②　（P30～P55）	間違えた問題を再度確認すること（1時間）
	27	パワードリルN2文字語彙　まとめテスト③　（P56～P76）	間違えた問題を再度確認すること（1時間）
	28	総まとめN2漢字（第1週2日目、3日目、4日目）	間違えた問題を再度確認すること（1時間）
	29	総まとめN2漢字（第1週5日目、6日目、7日目）	間違えた問題を再度確認すること（1時間）
	30	総復習	間違えた問題を再度確認すること（1時間）

評価方法

（1）授業の中で小テストおよび確認テスト、計6回実施する。（2）前期試験（筆記）を実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
確認テスト/小テスト	○	◎				50%
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	言語知識　文字語彙A_N3				
科目名(英)	Japanese Character and Vocabulary N3				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	今長まゆみ
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年　国際介護福祉科1年				
授業概要	日本で就労するには、日本語能力試験N2以上の日本語力が求められる。このクラスでは、まず、日本語能力試験でのN3合格を目指し、語彙習得のための指導を行う。授業では語彙知識の習得はもちろん、聴解や読解問題、日常会話に活かせる運用能力の育成に力を入れる。N3レベルの語彙を中心に、約1,200語の読み方、意味を学び、短文や会話の文脈にあった語彙が使えるようにする。また、類義語や表現、反意語なども合わせて学び、文字語彙の定着を図る。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					ひらがなで書かれたN3レベルの語を漢字で書くことができる。
○	○				N3レベルの漢字(約500字)で書かれた語を読むことができる。
○	◎		○		前後の文脈に合う語彙(N3レベル)を使うことができる。
○	◎				ある語や表現を意味的に近い他の語や表現に置き換えることができる。

テキスト・教材 参考図書

・佐々木仁子、松本紀子著 『日本語総まとめN3　語彙』 アスク出版　2018年
・松浦真理子　鈴木健司　監修『日本語パワードリルN3文字語彙』 アスク出版　2018年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	日本語総まとめN3語彙　第1週(家事　用語)　1日目～2日目	復習および予習をすること(1時間)
2	日本語総まとめN3語彙　第1週(家事　用語)　3日目～4日目	復習および予習をすること(1時間)
3	日本語総まとめN3語彙　第1週(家事　用語)　5日目～6日目	復習および予習をすること(1時間)
4	日本語総まとめN3語彙　第1週の復習テスト(7日目実戦問題) 日本語総まとめN3語彙　第2週(外出　用語)　1日目～2日目	復習および予習をすること(1時間)
5	日本語総まとめN3語彙　第2週(外出　用語)　3日目～4日目	復習および予習をすること(1時間)
6	日本語総まとめN3語彙　第2週(外出　用語)　5日目～6日目	復習および予習をすること(1時間)
7	日本語総まとめN3語彙　第2週　復習テスト(7日目実戦問題) 日本語総まとめN3語彙　第3週(休日　用語)　1日目～2日目	復習および予習をすること(1時間)
8	日本語総まとめN3語彙　第3週(休日　用語)　3日目～4日目	復習および予習をすること(1時間)
9	日本語総まとめN3語彙　第3週(休日　用語)　5日目～6日目	復習および予習をすること(1時間)
10	日本語総まとめN3語彙　第3週　復習テスト(7日目実戦問題) 日本語総まとめN3語彙　第4週(勉強　仕事の表現)　1日目～2日目	復習および予習をすること(1時間)
11	日本語総まとめN3語彙　第4週(勉強　仕事の表現)　3日目～4日目	復習および予習をすること(1時間)
12	日本語総まとめN3語彙　第4週(勉強　仕事の表現)　5日目～6日目	復習および予習をすること(1時間)
13	日本語総まとめN3語彙　第4週　復習テスト(7日目実戦問題) 日本語総まとめN3語彙　第5週(いろいろな表現)　1日目～2日目	復習および予習をすること(1時間)
14	日本語総まとめN3語彙　第5週(いろいろな表現)　3日目～4日目	復習および予習をすること(1時間)
15	日本語総まとめN3語彙　第5週(いろいろな表現)　5日目～6日目	復習および予習をすること(1時間)
16	日本語総まとめN3語彙　第5週　復習テスト(7日目実戦問題) 日本語総まとめN3語彙　第6週(まとめて覚える)　1日目～2日目	復習および予習をすること(1時間)
17	日本語総まとめN3語彙　第6週(まとめて覚える)　3日目～4日目	復習および予習をすること(1時間)
18	確認テスト①　フィードバック、パワードリルN3文字語彙(第1回)	復習および予習をすること(1時間)
19	日本語総まとめN3語彙　第6週(まとめて覚える)　5日目～6日目	復習および予習をすること(1時間)
20	日本語総まとめN3語彙　第6週　復習テスト(7日目実戦問題) パワードリルN3文字語彙(第2回)	復習および予習をすること(1時間)
21	パワードリルN3文字語彙(第3回、第4回)	復習および予習をすること(1時間)
22	確認テスト②　フィードバック、パワードリルN3文字語彙(第5回)	復習および予習をすること(1時間)
23	パワードリルN3文字語彙(集中トレーニング①②、第6回)	復習および予習をすること(1時間)

	24	パワードリルN3文字語彙（第7回、第8回）	復習および予習をすること(1時間)
	25	パワードリルN3文字語彙（第9回、第10回）	復習および予習をすること(1時間)
	26	パワードリルN3文字語彙（集中トレーニング③④、第11回）	復習および予習をすること(1時間)
	27	パワードリルN3文字語彙（第12回、第13回）	復習および予習をすること(1時間)
	28	パワードリルN3文字語彙（第14回、第15回）	復習および予習をすること(1時間)
	29	パワードリルN3文字語彙（集中トレーニング⑤⑥、第16回）	復習および予習をすること(1時間)
	30	N3　総復習	復習をすること(1時間)

評価方法

(1)授業の中で小テストを6回、確認テストを2回実施する。 (2)定期試験（筆記）を実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	◎				50%
確認テスト／小テスト	○	◎		○		50%
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	日本事情A_N2				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	染矢 悠子　伊東 佳代
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年　国際介護福祉科1年				
授業概要	日本で就労するためには、日本語能力試験N2以上の力が求められる。この授業ではN2合格を目指して授業を行う。授業では文章理解の基礎となる接続表現、指示語、機能語などのポイントをおさえながら、文章構造を理解し内容把握ができるようにする。またN2読解では、幅広い話題について書かれた論旨の明快な文章を読んで、その内容や表現意図を理解する読解力が必要なため、実際の試験と同様の形式の問題を解き、文章を読む前の内容予測や、読んだ後の正確な解答方法を身につけられるようトレーニングする。取り扱った問題の中から、日本の文化や日本事情についても同時に学び、理解を深める。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	◎				幅広い話題について書かれた論旨が明快な文章を読んで内容を説明できる。
○	◎				比較的平易な内容の評論、解説、エッセイを読み因果関係、概要、筆者の考えを述べることができる。
○	◎				一般的な話題に関する内容の複数のテキストを比較・統合しながら、読み比べることができる。
○	◎				論理展開が比較的明快な評論などの長文を読み、話の流れや、表現意図を説明することができる。
○	◎				情報素材から必要な情報を挙げることができる。

テキスト・教材 参考図書

・安藤栄里子・足立尚子 『必ずできる！　JLPT「読解」N2』 アルク　2020年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	Step 1　Level1　ウォーミングアップ1，2，3（指示詞、語彙の理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
2	Step 1　Level1　ウォーミングアップ4，5，6（文法、短文理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
3	Step 1　Level2　練習問題1日目、2日目、3日目 （短文内容理解、箇条書き）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
4	Step 1　Level2　練習問題4日目、5日目、6日目 （内容理解、統合理解、グラフ）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
5	Step 1　Level2　練習問題7日目、8日目、9日目 （内容理解、統合理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
6	Step 1　Level2　練習問題10日目（主張理解、内容理解） Step 2　Level3　ウォーミングアップ7,8日目（接続詞、副詞、文末表現）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
7	Step 2　Level4　練習問題11日目、12日目、13日目 （接続詞、内容理解、統合理解、情報検索）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
8	Step 2　Level4　練習問題13日目、14日目（内容理解、主張理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
9	Step 2　Level4　練習問題15日目、16日目（内容理解、統合理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
10	Step 3　Level5　ウォーミングアップ9,10（内容理解、文法、文末表現） Level6　練習問題17日目（接続詞、内容理解）	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
11	Step 3　Level　4/5　苦手な分野の復習	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
12	Step 3　Level6　統合理解　練習問題18日目、19日目	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
13	Step 3　Level6　練習問題20日目	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
14	Step 3　Level6　練習問題21日目	復習（0.5時間）、宿題をやること（0.5時間） テキストの語彙の意味を調べ覚える（0.5時間）
15	Step 3　Level6　練習問題22日目　および復習	定期試験に備えて復習を行う。（1時間）

評価方法

(1)定期試験（筆記）を実施する。（2）小テストを10回実施する。
以上を下記の観点・割合で評価をする。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
小テスト	○	◎				50%
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	日本事情A_N3				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	徳田　万里子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年　国際介護福祉科1年				
授業概要	日本人学生とともに学んだり、日本で就労するためには、日本語能力試験N2以上の力が求められる。この授業ではまず、N3合格を目指して、読解の分野を学ぶ。授業ではN3レベルの語彙や文法を使って書かれた身近な話題や興味のある話題について読み、書かれている概要を把握したり、筆者の意図を掴んだりできるようにする。また、知りたい情報を探したり、その情報を友達に知らせたり、説明ができるようにする。合わせて、読み物の中から、日本文化や日本事情について学び、日本への理解を深める。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	◎				日常的な話題について書かれた具体的な文章を読んで、内容を説明できる。
○	◎				文章の中からキーワードを掴み、因果関係などが説明できる。
○	◎				言い換え表現があれば、日常的な場面で目にするやや難易度の高い文章の要旨を述べることができる。
○	◎				広告やパンフレットなどの情報素材の中から必要な情報を探し出すことができる。
○	◎				日本文化や日本事情について自国や他国のものと比較しながら述べることができる。

テキスト・教材 参考図書

・安藤栄里子、足立尚子　著　『必ずできる！　JLPT「読解」N3』 アルク　2019年
・花井善朗　著　『ポップカルチャー　New & Old　ポップカルチャーで学ぶ初中級日本語』 くろしお出版　2017年（参考）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	Step 1　Level1　ウォーミングアップ1，2，3（指示詞、短文理解、接続詞）	宿題をやること(0,5時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
2	Step 1　Level1　ウォーミングアップ4，5，6（文法、短文理解）	宿題をやること(0,5時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
3	Step 1　Level1　ウォーミングアップ7，8（文法、短文理解、副詞） Step 1　Level2　練習問題1日目（短文内容理解、意見文）	宿題をやること(1時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
4	Step 1　Level2　練習問題2日目～6日目 （内容理解、意見文、接続詞、箇条書き）	宿題をやること(1時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
5	Step 1　Level2　練習問題7日目～11日目 （指示詞、内容理解、接続詞）	宿題をやること(1時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
6	Step 1　Level2　練習問題12日目（短文内容理解） Step 2　Level3　ウォーミングアップ9日目～11日目	宿題をやること(1時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
7	Step 2　Level4　練習問題13日目～15日目（指示詞、内容理解、情報検索）	宿題をやること(1時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
8	Step 2　Level4　練習問題16日目～18日目（内容理解、情報検索）	宿題をやること(1時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
9	実力チェックテスト①　フィードバック	間違えたところの復習をすること(1時間)
10	Step 3　Level5　ウォーミングアップ12,13（副詞、内容理解、文法、文末表現 Level6　21日目問題Ⅲ、Ⅳ、22日目、問題Ⅱ、Ⅲ、23日目　問題Ⅱ	宿題をやること(1時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
11	Step 3　Level6　練習問題24日目（中文読解、長文読解、情報検索）　他	宿題をやること(1時間) テキストの語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
12	読み物　日本文化に関するもの（基本）	宿題をやること(1時間) 新しい語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
13	読み物　日本文化に関するもの（応用）	宿題をやること(1時間) 新しい語彙の意味を調べ覚える(0.5時間)
14	実力チェックテスト②　フィードバック	間違えたところの復習をすること(1時間)
15	復習	定期試験に備えて復習を行う。(1時間)

評価方法

(1)定期試験（筆記）を実施する。（2）実力チェックテストを2回、小テストを数回実施する。
以上を下記の観点・割合で評価をする。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
小テスト/実力チェックテスト	○	◎				50%
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	日本語表現A_N2				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長まゆみ　秋本佐代子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年　国際介護福祉科1年				
授業概要	自然に近いスピードの、まとまりのある会話や説明を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したりできるように様々な場面での聴き取りの練習を行う。日本語能力試験対策として、N2文法や語彙、会話表現などの確認、練習を行いつつ、試験の問題形式に合わせた練習をする。また、聞き取った表現を実際の場面で使えるように指導する。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	◎				自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、次に取るべき行動が予測できる。
○	◎				ポイントを絞って必要な情報を聞き取ることができる。
○	◎				質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。
○	◎				長めの会話や説明を聞いて、複数の情報を比較統合しながら、内容が説明できる。
	◎				学んだ表現を使って、場面にあった会話ができる。

テキスト・教材 参考図書

佐々木仁子、松本紀子 『日本語総まとめN2　聴解』 アスク出版　2018年
・日本語テスト研究会 『日本語能力試験　N2模試』 UNICOM　2013年　他

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	1章　1　発音に関する聞きとり 2　文法に関する聞き取り①	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
2	1章　3　文法に関する聞き取り② 4　会話表現	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
3	1章　5　まとめの問題 3章　1　指示や説明を聞こう	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
4	3章　2　会話を聞こう 3　電話の会話やメッセージを聞こう	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
5	3章　4　意見や感想を聞こう 5　まとめの問題	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
6	2章　1　即時応答 2　課題理解	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
7	2章　3　ポイント理解 4　概要理解	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
8	2章　5統合理解①　　6統合理解②	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
9	確認テスト①(1章～3章)フィードバック	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
10	4章　1　町で　2　気象情報・交通情報	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
11	4章　3キャンパスで　4　いろいろな場面で	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
12	2章　7まとめ問題 4章　5まとめ問題	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
13	5章　総まとめ問題	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
14	確認テスト②(4章・5章)フィードバック	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
15	総復習(レベルチェック＋フィードバック)	間違えたところはCDで聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)

評価方法

(1)確認テスト　2回　(2)定期試験(筆記試験)
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
確認テスト	○	◎				50%
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	日本語表現A_N3				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	秋本　佐代子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年　国際介護福祉科1年				
授業概要	日常的な場面でやや自然に近いスピードの会話や説明を聞いて、話の内容を登場人物の関係などと合わせてほぼ理解できるように、聴き取りの練習を行う。N3文法や語彙、会話表現などの確認、練習を行いながら、試験の問題形式に合わせた練習をし、日本語能力試験N3の合格を目指す。また、聞く練習を通して、場面にあった自然な会話表現を身につけることを目標とする。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				日常的な場面の、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話や説明を聞き、内容が説明できる。
○	○				事前に聞くべきことを示されれば、ポイントを絞って情報を挙げることができる。
○	○				まとまりのあるテキストを聞き、テキスト全体から話者の意図や主張などが説明尾できる。
○	◎		○		日常的な場面で目にする状況を見ながら説明を聞き、その場面に合った発話ができる。
○	◎		○		日常場面で交される質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。

テキスト・教材 参考図書

・佐々木仁子、松本紀子　著『日本語総まとめN3　聴解』 アスク出版　2018年
・棚橋明美、杉山ますみ　著『スピードマスターN3　聴解』 Jリサーチ出版2015年
・佐々木仁子、松本紀子　著『日本語総まとめN2　聴解』　アスク出版　2018年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	総まとめ　N3 2章　6　まとめ問題　　1章　1　発音について　　2　文法について①	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
2	1章　3　文法について②　4会話表現	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
3	1章　5　まとめの問題　　3章　1　町で	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
4	3章　2　天気予報・交通情報　　3　学校で	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
5	3章　4　職場で　　5　病院・いろいろな店で	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
6	4章　1　人や物の様子　2　場所・方向・位置	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
7	4章　3　数・数字・計算　4　順序・比較	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
8	4章　5　まとめの問題 3章　6　まとめの問題　　2章　1発話表現	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
9	2章　2　即時応答　　3　課題理解	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
10	2章　4　ポイント理解　5　概要理解　5章 6　まとめの問題	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
11	確認テスト　フィードバック	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
12	総まとめN2 1章　1発音に関する聞き取り　2文法に関する聞き取り①	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
13	1章　3　文法に関する聞き取り②	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
14	1章　4　会話表現　5　まとめ問題	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)
15	総復習(レベルチェック＋フィードバック)	間違えたところを聞き直す。(0.5時間) 難しい語彙や文法はｽｸﾘﾌﾟﾄでﾁｪｯｸする。(0.5時間)

評価方法

(1)小テストを5回、確認テストを1回行う。 (2)定期試験(筆記試験)
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70　点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
小テスト/確認テスト	○	◎		○		50%
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ビジネス日本語A				
科目名(英)	Business Japanese A				
単位数	2	時間数	30	担当者	秋本佐代子／徳田万里子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年　国際介護福祉科1年				
授業概要	ビジネス、接遇場面における日本語表現やマナー、立ち居振る舞いを学び、職場において、日本人と円滑なコミュニケーションがとれるようになることを目指す。基本会話の音読や文型練習で基礎を定着させ、ロールプレイでは動きも取り入れながら応用力を鍛えていく。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				ビジネス用語を読み書きすることができる。
○	○				丁寧なことばに変える日本語のしくみを説明できる。
	○	○			ビジネス表現を、動作と共に適切なタイミングで使うことができる。
	○		○		基本を参考にしながら、短いビジネス会話文を作ることができる。
	○				あいさつと電話での日本のビジネスマナーについて、簡単に説明できる。

テキスト・教材 参考図書

宮崎道子・郷司幸子 『にほんごで働く ビジネス日本語30時間』 スリーエーネットワーク（2019年）
『ハートフル・ビジネスマナー』 ㈱ジェイティービー能力開発（2009年）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	1. 紹介する （基本表現・ことば）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
2	1. 紹介する （基本会話と入れ替え練習）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
3	1. 紹介する （ロールプレイ）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
4	筆記ミニテスト ／ 2. あいさつをする（基本表現・ことば）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
5	2. あいさつをする（基本会話と入れ替え練習）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
6	2. あいさつをする（ロールプレイ）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
7	筆記ミニテスト ／ 3. 電話をかける（基本表現・ことば）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
8	3. 電話をかける（会話のチャート練習）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
9	3. 電話をかける（基本会話と入れ替え練習）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
10	3. 電話をかける（ロールプレイ）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
11	筆記ミニテスト ／ 4. 注意をする（基本表現・ことば）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
12	4. 注意をする（基本会話と入れ替え練習）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
13	4. 注意をする（ロールプレイ）	テキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して覚える。（1時間）
14	筆記ミニテスト ／ 今までの復習	これまでの言葉と表現の中で、自分が苦手なものをノーとに書いて復習する。（1時間）
15	実演テスト	テキストのロールプレイの文章を

評価方法

1）定期試験（筆記）、 2）授業内で筆記ミニテストを4回、 3）同じく授業内で実演テストを1回行う。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	◎				40%
筆記ミニテスト	◎	◎				20%
実演テスト		◎	○	○		40%

履修上の注意	毎回必ずテキスト、を持参すること。忘れた場合はコピーを準備しておくこと。						

科目名	応用日本語A_N2				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	染矢悠子　横地知子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年　国際介護福祉科1年				
授業概要	日本人学生とともに勉強するには、日本語能力試験N2以上の力が必要となる。N2合格を目指し、読解と聴解を中心に出題分野別に学んでいく。N2読解では、幅広い話題について書かれた論旨の明快な文章を読んで、その内容や表現意図を理解する読解力が求められるため、初見の文章の構造を掴んで内容把握ができるよう、まず学習者が考え、その後、教師が解説をしながら授業を進めていく。また実際の聴解試験と同様の形式の問題に多く触れ、聞きながら話の流れを予測したり、概要を掴んで正確な解答にたどりつけるよう指導していく。また、原稿用紙の使い方、箇条書きやメモ取りなどの書くスキルを高めるよう指導する。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				文章の構造や指示語が何を示しているか述べることができる。
○	◎				一般的な話題について書かれた文章について大意の述べることができる。
○	◎				一般的な話題に関する会話やモノローグを聞いて、話の流れや表現が説明できる。
○	◎		○		原稿用紙の書き方に従い、出題意図に沿った作文を書くことができる。
	◎		○		メモを取って伝言を残したり、箇条書きをしたりすることができる。

テキスト・教材 参考図書

・星野恵子　辻和子　著　『ドリル＆ドリル　N2　聴解・読解』 UNICOM、2019年
・「はじめての日本語能力試験　合格模試N2」 アスク出版　2020年
・JLPT　公式問題集　第二集　N2　国際交流基金（参考）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	聴解について問題構成を知る。課題理解①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
2	日本語能力試験N2読解問題の構成を知る。内容理解(短文)①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
3	聴解　課題理解②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
4	読解　概要理解(短文)②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
5	聴解　ポイント理解①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
6	読解　内容理解(中文)①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
7	聴解　ポイント理解②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
8	読解　内容理解(中文)②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
9	聴解　概要理解①　即時応答①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
10	読解　内容理解(中文)③	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
11	聴解　概要理解②　即時応答②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
12	読解　統合理解①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
13	聴解　統合理解①	間違った箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
14	読解　統合理解②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
15	聴解　統合理解②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
16	読解　主張理解①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
17	聴解　苦手分野の復習	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
18	読解　主張理解②	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
19	聴解　実力チェックテスト①　および　フィードバック	間違った箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
20	読解　実力チェックテスト②　および　フィードバック	間違った箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
21	読解　情報検索①	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
22	読解　情報検索②　苦手分野の復習	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
23	原稿用紙の書き方(横書き),段落分け	授業内容の復習をすること(1時間)
24	読解　文章を読んで段落に分けて書く 文章の構成を考える(並替え)	授業内容の復習をすること(1時間)

	25	読解　丁寧体の文章を文体を一致させて普通体で書く。	授業内容の復習をすること（1時間）
	26	聴解　メモ取り（伝言）	授業内容の復習をすること（1時間）
	27	読解　課題を読み、重要なポイントを箇条書きにまとめる。	授業内容の復習をすること（1時間）
	28	読解　課題を読み、意見や意志を表す文章を書く。	授業内容の復習をすること（1時間）
	29	読解　総復習	授業内容の復習をすること（1時間）
	30	聴解　実力チェックテスト③　および　フィードバック	フィードバックを行うので、復習すること。（1時間）

評価方法

（1）定期試験（筆記）を実施する。（2）確認テストを3回実施する。（3）作文課題　4回　提出すること。
以上を下記の観点・割合で評価をする。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
実力チェックテスト	○	◎				30%
課題		◎		○		20%
発表・作品						

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

麻生外語観光＆製菓専門学校　シラバス

科目名	応用日本語A_N3				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	徳田　万里子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	N3合格を目指し、読解と聴解を中心に出題分野別に学んでいく。N3読解では、幅広い話題について書かれた論旨の明快な文章を読んで、その内容や表現意図を理解する読解力が求められるため、初見の文章の構造を掴んで内容把握ができるよう、まず学習者が初見の問題を読み考え、その後、教師が解説をしながら授業を進めていく。また実際の聴解試験と同様の形式の問題に多く触れ、聞きながら話の流れを予測したり、概要を掴んで正確な解答にたどりつけるよう指導していく。また、原稿用紙の使い方、箇条書きやメモ取りなどの書くスキルを高めるよう指導する。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				文章の構造や指示語が何を示しているか述べることができる。
○	○				日常的な話題について書かれた文章について大意を述べることができる。
○	○				日常的な話題に関する会話やモノローグを聞いて、話の流れや表現が説明できる。
	◎		○		原稿用紙の書き方を理解し、文体の一致した文章で意図に沿った文を書くことができる。
	◎				メモを取って伝言を残したり、箇条書きをしたりすることができる。

テキスト・教材 参考図書

・星野恵子、辻和子　著『ドリル＆ドリル　日本語能力試験N3　聴解・読解』 UNICOM Inc.　2018年
・渡辺亜子、菊治民子　著 『スピードマスターN3　読解』 Jリサーチ出版　2018年(参考)
・中村かおり、福島佐知　著『新完全マスターN3聴解』ｽﾘｰｴｰﾈｯﾄﾜｰｸ　2018年(参考)

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	日本語能力試験　N3聴解　について 課題理解　第1回～2回　概要理解　第1回(1番)	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
2	日本語能力試験　N3読解　について 内容理解(短文)　第1回	新しい言葉の予習復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
3	聴解:課題理解　第3回～4回 概要理解　第1回(2～3番)	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
4	読解:内容理解(短文)　第2回 内容理解(中文)　第1回(1番)	新しい言葉の予習復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
5	聴解:課題理解　第5回 ポイント理解　第1回　概要理解　第2回(1番)	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
6	読解:内容理解(中文)　第1回(2～3番) 情報検索　第1回	新しい言葉の予習復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
7	聴解:ポイント理解　第2回～第3回 概要理解　第2回(2～3番)	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
8	読解:内容理解(中文)　第2回 情報検索　第2回	新しい言葉の予習復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
9	聴解:ポイント理解　第4～5回 概要理解　第3回(1番)	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
10	読解:内容理解(長文)　第1回 情報検索　(スピードマスターN3)	新しい言葉の予習復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
11	聴解:概要理解　第3回(2～3番)、第4回 発話表現　第1～2回	間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
12	読解:内容理解(長文)　第2回 情報検索　(スピードマスターN3)	間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
13	聴解:概要理解　第5～6回 発話表現　第3回　即時応答　第1回	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
14	読解:内容理解(メール、案内文)	新しい言葉の予習復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
15	聴解:概要理解　第7～8回 即時応答　第2～3回	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
16	読解:内容理解(中文、長文)	間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
17	聴解:概要理解　第9～10回 即時応答　第4～5回	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
18	読解:情報検索	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
19	実力チェックテスト①聴解　フィードバック	間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
20	実力チェックテスト②読解　フィードバック	間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
21	聴解:苦手分野の復習	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) スクリプトを読み、言い回しを覚えること。(0.5時間)
22	読解:苦手分野の復習	新しい言葉の復習をすること。(0.5時間) 文法の復習をすること(0.5時間)
23	原稿用紙の書き方(横書き)、段落分け	間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)
24	読解　文章を読んで段落に分けて書く 文章の構成を考える(並替え)	間違えた箇所をやり直し、復習すること。(1時間)

麻生外語観光＆製菓専門学校　シラバス

	25	読解　丁寧体の文章を文体を一致させて普通体で書く。	授業内容の復習をすること（1時間）
	26	聴解　メモ取り（伝言）	授業内容の復習をすること（1時間）
	27	読解　課題を読み、重要なポイントを箇条書きにまとめる。	授業内容の復習をすること（1時間）
	28	読解　課題を読み、意見や意志を表す文章を書く。	授業内容の復習をすること（1時間）
	29	実力チェックテスト③聴解　フィードバック	授業内容の復習をすること（1時間）
	30	読解　総復習	授業内容の復習をすること（1時間）

評価方法

（1）定期試験（筆記）を実施する。（2）実力チェックテストを3回実施する。（3）課題　4回提出
以上を下記の観点・割合で評価をする。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	◎				50%
実力チェックテスト	○	◎				30%
宿題・レポート		◎		○		20%
発表・作品						

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	実用日本語A_N2				
科目名(英)					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	横地　知子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	年国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	中級レベルの日本語学習者を対象に、JLPT　N2受験・合格を目指し、苦手分野の強化を図る。とりわけ、言語知識の分野で、読解や聴解の基礎となる文法を中心に、実際の出題形式に近い問題を多数解くことにより、N2レベルの目標である「日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」レベルへの到達を目指す。				
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				文の内容にあった文法形式を使って文を作ることができる。
○	◎				N2レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。
◎	◎				N2レベルで書かれた文章の流れや表現意図に合う文法を選び使うことができる。

テキスト・教材 参考図書

・松浦　真理子 監修 『日本語能力試験パワードリルN2　文法』 アスク出版　2018年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	第1、2、3日目	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.5時間)
2	第4、5日目　集中トレーニング①②　助詞(1)、(2)	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.5時間)
3	第6、7、8日目	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.5時間)
4	第9、10日目　集中トレーニング③④　助詞(3)、文末表現(1)	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.6時間)
5	第11、12日目　　苦手分野の復習　並べ替え	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.7時間)
6	第13、14日目集中トレーニング⑤⑥　文末表現(2)、文末表現(3)	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.8時間)
7	模擬試験　フィードバック	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.9時間)
8	第15日目　苦手分野の復習②　文章の文法	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(0.10時間)

評価方法

(1)授業の中で小テストを3回実施する。　(2)模擬試験(言語知識 文法分野)の結果
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
模擬試験結果	◎	◎				50%
小テスト	○	◎				50%
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意

出席が6回に満たない場合は、評価が受けられない。

科目名	実用日本語A_N3				
科目名(英)					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	秋本　佐代子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	初級日本語の学習を終えた学生を対象に、JLPT　N3受験・合格に向け、読解や聴解の基礎となる言語知識の習得を目指す。実際の出題形式に近い問題を多数解き、問題に慣れると同時に、近年N3でも出題されるN2レベルの問題にも取り組み、得点アップを目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					N3レベルの漢字(約500字)で書かれた語を読むことができる。
◎	◎				前後の文脈に合う語彙(N3レベル)を使うことができる。
◎	◎				ある語や表現を意味的に近い他の語や表現に置き換えることができる。
◎	◎				N3レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。
◎	◎				N3、N2レベルで書かれた文章の流れや表現意図に合う文法を選び使うことができる。

テキスト・教材 参考図書

・『日本語能力試験　20日で合格　N3　文字・語彙・文法』 国書刊行会　2019年

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	第1～3日目　言語知識　漢字読み	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
2	第4～5日目　言語知識　漢字選択	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
3	第6～8日目　言語知識　文脈	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
4	第9～10日目　言語知識　言い換え表現	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
5	第11～13日目　言語知識　用法	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
6	第14～15日目　言語知識　文法形式	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
7	第16～18日目　言語知識　文の組み立て	間違えたところを復習すること。(0.5時間) 宿題をすること。(1時間)
8	第19～20日目　言語知識　文章の文法	間違えたところを復習すること。(1時間)

評価方法

(1)小テストを4回実施する。　(2)模擬試験(言語知識　分野)の結果
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
模擬試験	◎	◎				
小テスト	◎	○				
宿題・レポート						
発表・作品						

履修上の注意

出席が6回に満たない場合は、評価が受けられない。

科目名	ホテル概論A				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	一岡　浩己
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	広くホテル全般や取り巻く環境等に関する知識を学ぶ。宿泊、料飲、宴会の各部門の基礎的な業務の理解を中心に、業界で働く上で知っておくべき代表的なホテル名や専門用語の習得を目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					代表的なホテル名を知り、各ホテルの特徴を考える。
	○				ホテル産業の特徴を把握し、シティホテルやリゾートホテル等種類の違いを説明できる。
○					ホテルの組織を知り、役職名やその職域を理解し説明できるようになる。
○					宿泊、料飲、宴会の主要業務の基礎を学び、現場でのより専門的な業務について述べることができる。

テキスト・教材 参考図書

「現代ホテル理論」マーケティングオフィス（平成5年）、プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	授業内容説明、評価方法　／　ホテルとは（日本のホテルと歴史）	授業内容の復習をしておくこと
2	代表的ホテル研究、比較①富士屋ホテル	授業内容の復習をしておくこと
3	代表的ホテル研究、比較②御三家ホテル	授業内容の復習をしておくこと
4	代表的ホテル研究、比較③新御三家ホテル	授業内容の復習をしておくこと
5	代表的ホテル研究、比較④ラグジュアリーホテル	授業内容の復習をしておくこと
6	シティホテルとリゾートホテル	授業内容の復習をしておくこと
7	ホテルの組織と役職	授業内容の復習をしておくこと
8	宿泊部門について（部署構成、客室タイプ、予約の流れ）	授業内容の復習をしておくこと
9	フロントサービス、フロント、コンシェルジュ	授業内容の復習をしておくこと
10	ハウスキーピング、その他の宿泊部門	授業内容の復習をしておくこと
11	料飲部門について①レストラン	授業内容の復習をしておくこと
12	料飲部門について②バーラウンジ	授業内容の復習をしておくこと
13	料飲部門について③フランス料理	授業内容の復習をしておくこと
14	料飲部門について④お酒	授業内容の復習をしておくこと
15	まとめ	

評価方法

(1)授業の中で小テストを2回実施する。 (2)レポートを数回実施する。 (3)定期試験（筆記）を実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				50%
小テスト	◎	◎				25%
レポート	○	◎		◎		25%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	ホテルサービスA				
科目名(英)	Hotel service A				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	木村　匡志
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系ホテルにて、料飲部門スタッフとして勤務
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科				
授業概要	ホテル業界で働くことを目指すにあたり、ホテルスタッフとして必要なホスピタリティ・マインドや立ち居振る舞い、言葉遣いを習得する必要性がある。この授業では、おもてなしについて深く考え、特にレストランスタッフにおいて求められる立ち居振る舞いや技術についてを基礎から学び、実践を通して身に付けることを目標とする。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標(到達目標)

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○			ホテルスタッフに必要な基本動作を学び、実践することができる。
		○			ホテルスタッフに必要な言葉遣いを学び、基本動作と共に実践することができる。
		○			学んだ基本動作や言葉遣いを、レストランでのアテンドの場面で発揮することができる。
		○			テーブルセッティングやトレイサービスを決められた時間内に完了させることができる。

テキスト・教材 参考図書: なし

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	授業概要説明、サービス・おもてなしについて	授業内容を復習しておくこと
2	サービス・おもてなしについて	授業内容を復習しておくこと
3	ホテルスタッフとしての立ち居振る舞い	授業内容を復習しておくこと
4	ホテルスタッフとしての正しい言葉遣い	授業内容を復習しておくこと
5	レストランでのアテンド(実技テスト練習1回目)	授業内容を実践的に復習しておくこと
6	レストランでのアテンド(実技テスト練習2回目)	授業内容を実践的に復習しておくこと
7	レストランでのアテンド(実技テスト練習3回目)	授業内容を実践的に復習しておくこと
8	実技テスト(レストランでのアテンド)	実技確認テストの準備をしておくこと
9	レストランスタッフに求められる技術(テーブルクロスのかけ方)	授業内容を実践的に復習しておくこと
10	レストランスタッフに求められる技術(トレイの持ち方)	授業内容を実践的に復習しておくこと
11	レストランスタッフに求められる技術(テーブルセッティング)	授業内容を実践的に復習しておくこと
12	テーブルセッティング＆トレイの持ち方(実技テスト練習1回目)	授業内容を実践的に復習しておくこと
13	テーブルセッティング＆トレイの持ち方(実技テスト練習2回目)	授業内容を実践的に復習しておくこと
14	実技テスト(テーブルセッティング＆トレイの持ち方)	実技確認テストの準備をしておくこと
15	実技テスト(テーブルセッティング＆トレイの持ち方)	実技確認テストの準備をしておくこと

評価方法

(1)授業の中で実技テストを2回実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
実技テスト(レストランアテンド)			◎			50%
実技テスト(ﾃｰﾌﾞﾙｾｯﾃｨﾝｸﾞ＆ﾄﾚｲ)			◎			50%

履修上の注意: 出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。
また、実技テストを1回でも受講していない場合は、D評価(単位未取得)となる。

科目名	ホテルコミュニケーションスキルA				
科目名(英)	Hote Communication Skill A				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	秋本佐代子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年				
授業概要	ホテルで働くのには敬語の知識が不可欠であるが、この授業では場面に応じた基礎的な敬語の運用を学んでいく。普段の日本語科目授業では目にしない専門用語に触れ、覚えるだけでなく、適切なタイミングで即座に使用できるよう、音読練習やロールプレイ練習も取り入れていく。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				カジュアルな表現を敬語に変えて話すことができる。
○	○				お客さまを案内する簡単な英文を挙げることができる。
	○		○		お客さまに正しい順序でサービス内容を案内することができる。
		○	○		ホテルの場面に応じた表現を、動作と共に適切なタイミングで使うことができる。

テキスト・教材 参考図書

参考図書JAL ACADEMY 『サービス日本語～ホテルスタッフ編～』にほんごの凡人社（2003年）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	接客のコミュニケーション	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
2	おもてなしの心	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
3	ホテルのサービスについて	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
4	サービスで使う言葉	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
5	予約を受ける	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
6	チェックイン	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
7	部屋の案内	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
8	両替	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
9	チェックアウト	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
10	英語で案内（チェックイン）	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
11	英語で案内（部屋の案内）	学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)
12	ホテルプランを考える	色々なホテルが提供しているプランについて調べてノートにまとめる。(0.5時間)
13	ホテルプランを紹介する	プランの紹介の仕方の日本語文章をノートにまとめる。(0.5時間)
14	ホテル業界について講話	講話の内容をノートにまとめる。(0.5時間)
15	口頭テスト、レポート提出	前期の表現をノートにまとめる。(0.5時間)

評価方法

1）レポート提出1回、 2）口頭テストを1回実施する
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
レポート提出	○	◎		○		50%
口頭テスト	○	◎		○		50%

履修上の注意	配布したプリントはファイルに綴じていくこと。						

科目名	ビジネスマナーA				
科目名(英)	Business manners A				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長まゆみ ／ 秋本佐代子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ﾎﾃﾙ・ﾘｿﾞｰﾄ科1年 国際介護福祉科1年				
授業概要	日本で働く上で知っておくべきビジネスマナーを事例と共に学んでいく。その際、なぜそのマナーがあるのかの理由を理解していくと共に、自国のマナーとの違いを説明できるようになることを目指す。				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※ 主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				日本のマナーを理由と共に説明することができる。
○	○				自国と日本のマナーの違いを説明することができる。
○	○				位置情報を正しく相手に説明することができる。
○	○				ビジネス文書の形式を説明することができる。
○	○				手紙文と宛名を正しく書くことができる

テキスト・教材 参考図書

武田聡子・長崎清美 『留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』
日本能率協会マネジメントセンター（2020年）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	1-1　日本人と働く心構え	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
2	1-2上司・先輩付き合い方／1-3 同僚との付き合い方	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
3	1-4　就業時間外の付き合い／ フィールドワーク準備	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
4	フィールドワーク(周辺情報を伝える)	学校周辺情報についてノートにまとめる(1時間)
5	1-5　ウチとソトの関係　／フィールドワークの情報まとめ	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
6	1-6　チームワーク　／　5-1 敬語の使い方	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
7	1-7　配慮のある話し方　／　5-2 話し言葉・書き言葉	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
8	1-8　話の進め方　／　5-4 ビジネスメールの形式	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
9	2-1　時間厳守　／　5-5 ビジネス文書の形式	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
10	2-2　就業時間　／　5-6 はがきと封筒	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
11	2-3～2-5　身だしなみ・あいさつ・お辞儀	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
12	2-6　報告・連絡・相談　／　縦書き文書を書く	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
13	2-7　情報管理　／　手紙定型文を学ぶ	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
14	2-8　ハラスメント　／　暑中見舞いを書く	「理解を深めましょう！」の質問に答えられるように、ノートに文章を書き、音読する(1時間)
15	筆記テスト	今まで学んだことをノートにまとめる。(1時間)

評価方法

(1)授業の中で筆記テストを実施する、 (2)スピーチ動画を提出する、
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
筆記テスト	◎	◎				50%
スピーチ動画提出	◎	◎		◎		50%

履修上の注意	テキストを持って来るのを忘れないこと。忘れた場合は、自分でコピーを準備すること。 スピーチ動画はTeamsで提出すること。						

科目名	サービス接遇A				
科目名(英)	Service Industry Skills　A				
単位数	2	時間数	30	担当者	秋本佐代子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科1年				
授業概要	サービス業に就くうえで必要なビジネスマナーの基礎知識や、優れたサービススタッフとしての心構えや立居振る舞いについて学ぶ。また専門用語や敬語を学ぶことで、日本語運用能力も高めていく。様々な事例に対してどう対応すべきか自分の意見を述べる力も養っていく。				
授業形式	講義:　〇	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:〇　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	〇				毎回の授業のテーマについて大事なポイントを説明することができる。
	〇	〇			お客さまへの正しい応対仕方について説明することができる。
〇	〇				商業用語、慣用表現を説明することができる。
〇	〇				5択の文章問題で、正解の理由を説明することができる。

テキスト・教材 参考図書

公益財団法人 実務技能検定協会 『サービス接遇検定公式テキスト3級』 早稲田教育出版(2019)

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	1. サービススタッフの資質(明るさと誠実さ)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
2	1. サービススタッフの資質(適切な判断)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
3	1. サービススタッフの資質(身だしなみ)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
4	1. サービススタッフの資質(良識)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
5	1. サービススタッフの資質(協調性)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
6	1. サービススタッフの資質(清潔感)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
7	1. サービススタッフの資質(忍耐力)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
8	2. 専門知識(サービスの意義)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
9	2. 専門知識(サービスの機能)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
10	2. 専門知識(サービスの種類)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
11	2. 専門知識(商業用語)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
12	3. 一般知識(社会常識)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
13	3. 一般知識(時事問題)	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)
14	筆記テスト	今まで解いた問題をもう一度解く。間違えた問題の理由をノートにまとめる。(1時間)
15	ビジネス文書(請求書・精算書)	もう一度ビジネス文書を自分で作成する。(0.5時間)

評価方法

(1)授業の中で筆記テストを1回実施する、(2)定期試験(筆記)を実施する、(3)
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
授業内筆記テスト	◎	◎				50%
正試験	◎	◎				50%

履修上の注意	毎回必ずテキスト、を持参すること。忘れた場合はコピーを準備しておくこと。						

科目名	実用英語A				
科目名(英)	Practical English A				
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	秋本佐代子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾート科　1年				
授業概要	英検3級合格に必要な基本的な単語・文法の習得を目指す。文法のしくみを理解するだけではなく、例文の音読を繰り返すことで定着を図る。				
授業形式	講義:　○	演習:	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標(到達目標)

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				英検3級合格に必要な基本的な単語(名詞と動詞)の意味を説明することができる。
○	○				英検3級合格に必要な基本的な文法(現在完了・不定詞)のしくみを説明することができる。
○	○				英検3級合格に必要な基本的な文法(現在完了・不定詞)の短い文章を作ることができる。
○	○				英検3級リスニングで頻出の例文を聞いて意味を説明することができる。

テキスト・教材 参考図書

『小学生のためのよくわかる英検3級合格ドリル』 旺文社(2017年)
『7日間完成英検3級予想問題ドリル』 旺文社(2019年)

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	現在完了(完了、継続)　／単語(名詞①)	学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)
2	現在完了(経験)／現在完了復習　／単語(名詞①)テスト	学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)
3	受動態／不定詞(It～to・・・構文)　／単語(名詞②)	学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)
4	不定詞(疑問視＋不定詞／受動態・不定詞復習／単語(名詞②)ﾃｽﾄ	学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)
5	不定詞(動詞＋人＋不定詞)／第5文型(SVOC)／単語(動詞)	学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)
6	間接疑問／　不定詞・第5文型・間接疑問復習　／単語(動詞)テスト	学んだ単語・例文をノートに書いて覚える。その後に音読し、さらに覚えを定着させる(0.5時間)
7	リスニング(会話・まとまった英文を聞き取る)	リスニングのスクリプトを音読する。(0・5時間)
8	復習テスト／3級実践問題(大問1・2)	復習テストに向け今までの単語・例文を書いて音読して覚えを定着させる。(0.5時間)

評価方法

(1)単語テストを3回、　(2) 復習テストを1回、実施する
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
単語テスト(筆記)	◎	◎				50%
復習テスト(筆記)	◎	◎				50%

履修上の注意